通告順序	4

令和５年３月３日

日野町議会議長　　様

日野町議会議員
佐々木　求　（印）

一　般　質　問　通　告　書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の趣旨・背景	質問の要旨 （具体的に回答を求める事項）	質問の相手
介護保険について	「異次元の金融緩和」政策、「アベノミクス」のもと、賃金も年金も上がらず物価は高騰しています。 輸入品はすべての品目で値上がりし、町民は塗炭の苦しみの中にいます。その具体的内容は国保・介護保険の負担があまりにも大きいという町民の声にも典型的に現れています。 国の悪政から町民の暮らしを守る「防波堤の役割」を果たすべき地方自治体の在り方が今日ほど厳しく問われている時はないと考えます。	１．介護給付費準備基金７千万円の基金を取り崩して、再度引き下げる考えはあるか。あるとすればどの程度を具体的に考えているのか。 ２．「100 歳体操」をはじめとした様々な地域での健康への取り組み、効果はどのように評価しているか。 地域づくりの上で、今後の展開はどの様に考えているか。 ３．介護サービス利用料の２割３割負担の対象拡大、要介護１、２の給付外しにどの様に対応していくのか。 ４．ケアプラン作成料の有料化が見送られた教訓は何と考えられますか。	町長